

Q1. 貴社は従業員にとって、働きやすい環境だと思いますか（一つ）。

*

☐ 思う

☐ やや思う

☐ あまり思わない

☐ 思わない

Q2. Q1で「思う」「やや思う」と回答した方にお聞きます。

働きやすい職場であることにより、どのような効果が生まれていますか（全て）。

＊（複数選択）

☐ 生産性の向上

☐ イノベーションの創出

☐ 業績の向上

☐ 円滑なコミュニケーション

☐ 従業員エンゲージメントの向上

☐ 休職率の低下

☐ 離職率の低下

☐ 優秀な人材の獲得

☐ 企業のブランドイメージの向上

☐ その他

☐ 特に効果を感じていない

Q3. 働きやすさを測っている指標として、当てはまるものをお選びください（全て）。

＊（複数選択）

☐ 労働時間

☐ 離職率

☐ 休暇取得率

☐ 男女比率

☐ 育児休業からの復帰率

☐ 男性の育児休業取得率

☐ 女性管理職比率

☐ 男女の賃金格差

☐ 従業員満足度

☐ エンゲージメントサーベイの結果

☐ その他

☐ 特に測っていない

Q4. 働きやすい職場にするために行っている施策として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 残業の抑制

☐ 休暇取得の推進

☐ 公平な人事制度の策定

☐ 福利厚生充実

☐ 働く場所を選択できる制度の導入

☐ フレックスタイム制度の導入

☐ DXの推進

☐ オフィスレイアウトの工夫

☐ その他

☐ 特に施策を行っていない

Q5. 貴社は従業員にとって、働きがいのある環境だと思いますか（一つ）。

*

☐ 思う

☐ やや思う

☐ あまり思わない

☐ 思わない

Q6. Q5で「思う」「やや思う」と回答した方にお聞きます。
働きがいのある職場であることにより、どのような効果が生まれていますか（全て）。

*（複数選択）

☐ 生産性の向上

☐ イノベーションの創出

☐ 業績の向上

☐ 円滑なコミュニケーション

☐ エンゲージメントの向上

☐ 休職率の低下

☐ 離職率の低下

☐ 優秀な人材の獲得

☐ 企業のブランドイメージの向上

☐ その他

☐ 特に効果を感じていない

Q7. 働きがいを感じている指標として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 離職率

☐ 女性管理職比率

☐ 従業員満足度

☐ エンゲージメントサーベイの結果

☐ ストレスチェックの結果

☐ 研修の受講率・満足度

☐ キャリア開発制度の利用率・満足度

☐ その他

☐ 特に測っていない

Q8. 働きがいのある職場にするために行っている施策として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 適切なフィードバック

☐ 公平な人事制度の策定

☐ 従業員同士のコミュニケーションの促進

☐ 企業理念の浸透

☐ 教育・研修制度の充実

☐ キャリアパスの明確化

☐ 挑戦できる機会の提供

☐ その他

☐ 特に施策を行っていない

Q9. ここからはシニア社員の働きやすさ、働きがいについてお聞きします。
シニア社員を雇用していく上で、課題に感じていることとして、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

- ☐ モチベーションの低下
- ☐ パフォーマンスの低下
- ☐ 新しい業務や技術への適応スピードの鈍化
- ☐ 体力・健康面に対する不安
- ☐ パフォーマンスに対する給与が見合わない
- ☐ 業務や配置を決めるのが難しい
- ☐ 報酬や処遇を決めるのが難しい
- ☐ 年齢が若い上司によるマネジメントが難しい
- ☐ 若手社員との間にコミュニケーションギャップがある
- ☐ その他
- ☐ 特に課題はない

Q10. シニア社員にいきいきと働いてもらうために実施している施策として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

- ☐ 定年制の廃止
- ☐ 定年年齢の引き上げ
- ☐ 70歳までの継続雇用制度の導入
- ☐ シニア社員に特化した教育・研修の実施
- ☐ 全社員を対象とする教育・研修の実施
- ☐ 新しい役割や業務の提供
- ☐ キャリアカウンセリングの実施
- ☐ 多様な雇用形態（パートタイム、契約社員など）の提案
- ☐ 後輩のメンターとして登用
- ☐ 健康管理・安全衛生対策の充実
- ☐ その他
- ☐ 特に施策を行っていない

Q11. Q10で「健康管理・安全衛生対策の充実」と回答した方にお聞きます。
実施している健康管理・安全衛生対策として、当てはまるものをお選びください（全て）。
*（複数選択）

- ☐ 定期的な健康診断の実施
- ☐ 負荷の少ない業務への異動
- ☐ 柔軟な働き方（リモートワーク、時短勤務など）の導入
- ☐ 体力チェックの実施
- ☐ シニア社員に合わせたオフィス環境・作業環境の改善
- ☐ 福利厚生（健康診断項目の追加、スポーツジムの補助など）の充実
- ☐ 相談窓口の設置
- ☐ 健康に関するセミナー・研修の実施
- ☐ シニア社員に対するアンケートの実施
- ☐ その他

Q12. Q10で「シニア社員に特化した教育・研修の実施」と回答した方にお聞きます。
実施している教育・研修の内容として、当てはまるものをお選びください（全て）。
*（複数選択）

- ☐ 業務を行う上で必要な知識や技術
- ☐ 基本的なデジタルリテラシー
- ☐ AIやデータ活用など高度なDX知識
- ☐ キャリア
- ☐ ライフプラン
- ☐ リーダーシップ
- ☐ コミュニケーションスキル
- ☐ 健康維持や体力向上
- ☐ ナレッジシェアリング（後輩に知識や経験を教える）
- ☐ その他

Q13. ここからは、従業員の介護支援についてお聞きます。
貴社が従業員の介護支援を行う目的として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ ワークライフバランスの支援

☐ 精神的・身体的な負荷の軽減

☐ 離職防止

☐ モチベーションの維持・向上

☐ 生産性の維持・向上

☐ 企業イメージの向上

☐ 社会的責任（CSR）の一環

☐ ダイバーシティ＆インクルージョンの推進

☐ 介護関連法規の遵守

☐ その他

Q14. 貴社が実施している法的義務措置以外の介護支援施策として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 法定を超える介護休暇・休業制度

☐ 時短勤務制度

☐ 時差出勤制度

☐ リモートワーク

☐ フレックス制度

☐ 勤務日数の調整（週4日勤務など）

☐ 介護費用の補助

☐ 介護休業中の給与の補助

☐ 相談窓口の設置

☐ 介護に関する社内教育・研修の実施

☐ その他

☐ 法的義務措置以外の介護支援は行っていない

Q15. 従業員の介護の状況について、どの程度把握していますか。最も当てはまるものをお選びください（一つ）。

*

☐ 把握している

☐ やや把握している

☐ あまり把握していない

☐ 把握していないが、今後1年以内に把握する予定がある

☐ 把握しておらず、今後1年以内に把握する予定もない

Q16. Q15で「把握している」「やや把握している」と回答した方にお聞きます。
従業員の介護の状況の把握の方法として、当てはまるものをお選びください（全て）。
*（複数選択）

☐ 自己申告制度の導入

☐ アンケートの実施

☐ 上司との個別面談

☐ 相談窓口の設置

☐ 日常会話の中で把握

☐ その他

Q17. Q15で「把握している」「やや把握している」と回答した方にお聞きます。
把握している項目として、当てはまるものをお選びください（全て）。
*（複数選択）

☐ 介護対象者との関係性

☐ 介護対象者の人数

☐ 介護対象者の年齢

☐ 介護対象者の居住地

☐ 介護にかかる時間・頻度

☐ 必要なケアの内容

☐ 他の協力者の有無

☐ 利用中のサービス

☐ 業務への影響

☐ 介護が発生した場合の就業継続希望

☐ 今後介護が発生する可能性

☐ その他

Q18. Q15で「把握していないが、今後1年以内に把握する予定がある」と回答した方にお聞きます。
予定している把握の方法として、当てはまるものをお選びください（全て）。
*（複数選択）

☐ 自己申告制度の導入

☐ アンケートの実施

☐ 上司との個別面談

☐ 相談窓口の設置

☐ 日常会話の中で把握

☐ その他

Q19. Q15で「把握していないが、今後1年以内に把握する予定がある」と回答した方にお聞きます。
把握する予定の項目として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 介護対象者との関係性

☐ 介護対象者の人数

☐ 介護対象者の年齢

☐ 介護対象者の居住地

☐ 介護にかかる時間・頻度

☐ 必要なケアの内容

☐ 他の協力者の有無

☐ 利用中のサービス

☐ 業務への影響

☐ 介護が発生した場合の就業継続希望

☐ 今後介護が発生する可能性

☐ その他

Q20. ここからは、心理的安全性についてお聞きます。
※「心理的安全性」とは、職場で誰に何を言っても、どのような指摘をしても、拒絶されることがなく、罰せられる心配もない状態のことをいいます。
心理的安全性という言葉の認識として、最も当てはまるものをお選びください（一つ）。

*

☐ ほとんど正確に意味を理解していた

☐ だいたいの意味は知っていた

☐ 言葉自体は聞いたことがあるが、意味は知らなかった

☐ 初めて聞いた

Q21. 貴社は心理的安全性が高い職場だと思いますか（一つ）。

*

☐ 思う

☐ やや思う

☐ あまり思わない

☐ 思わない

Q22. Q21で「思う」「やや思う」と回答した方にお聞きます。
心理的安全性があることで、どのような効果が生まれていますか（全て）。

*（複数選択）

☐ 優秀な人材の獲得

☐ 生産性の向上

☐ イノベーションの創出

☐ 業績の向上

☐ 円滑なコミュニケーション

☐ 従業員エンゲージメントの向上

☐ 休職率の低下

☐ 離職率の低下

☐ 企業のブランドイメージの向上

☐ その他

☐ 特に効果を感じていない

Q23. 貴社が心理的安全性を測っている指標として、当てはまるものをお選びください（全て）。

*（複数選択）

☐ 休職率

☐ 離職率

☐ 従業員満足度

☐ エンゲージメントサーベイの結果

☐ アンケート調査（エンゲージメントサーベイ、従業員満足度調査を除く）の結果

☐ ストレスチェックの結果

☐ その他

☐ 特に計測していない